

## 日本応用心理学会常任理事会議事録

### 2002年度第4回常任理事会

日時：2002年10月25日（金）18:00～20:00

場所：東京富士大学本館1階第2会議室

出席者：森下・稲毛・浮谷・内海・大久保・大塚・岡村・荻野・小野・垣本・大坊・長塚・馬場・林・藤田・正田・松浦・八木事務局（岩田）

### 報告事項

1. 2002年度（第69回大会）について（岡村第69回大会準備委員長）
  - 1) 大会には305名（名誉会員17名を含む）が参加し盛会であった。
  - 2) 研修会には78名（予約54, 当日20, 非会員4）の参加があった。
  - 3) 総会は、初めての試みとして弁当を用意したこともあり、これまでの大会に比べ多くの参加者が出席した。
2. 2003年度（第70回大会）について（森下第70回大会準備委員長）
  - 1) 1号通信を11月中旬ないし下旬に発送する予定である。
  - 2) 69回大会を参考に作業日程を定める。
  - 3) 内容について
    - (1) 研修会を開催する。
    - (2) 70回目の大会という節目の大会であるので記念の講演を計画している。
    - (3) 準備委員会主催のシンポジウムやワークショップを3～4つ計画している。
    - (4) ポスター発表を重視する。
    - (5) 次回に連盟発表者として非会員の参加を認めるか否かの審議を願いたい。
3. 委員会報告
  - 1) 機関誌編集委員会（小野委員長）

28巻1号を9月1日に発行。28巻2号には、総説論文1編を含む5編の掲載を予定している。1月下旬に発行したい。
  - 2) 選挙管理委員会（荻野委員長）

選管委員会発足の経緯と常任理事選出のため

の選挙及び理事長選出のための選挙日程の繰り上げについて以下の報告と説明がなされた。

- (1) 事務局引き継ぎ等の日程を考慮し、両選挙日程を早めるために、選挙管理委員として岡村前理事長から林常任理事、藤田常任理事、藤森監事及び荻野の4名が推薦され、森下理事長の承認を受け、選挙管理委員会を発足させた。
  - (2) すでに常任理事選挙は手続きを進めており、10月28日締め切り、10月30日の開票の予定である。
  - (3) 理事長選出については次回常任理事会までに選挙を行い同会で結果を報告する。
4. その他（荻野事務局長）
- 1) 故高橋たまき先生のご家族から初期の機関誌の寄贈を受けた。
  - 2) 連合からの“心理学の基礎資格に関するアンケート”に対し、常任理事会の意見を基に次のような回答をした。
    - (1) 諸学会連合の基礎資格ができた場合、貴学会の職能資格の基礎資格として利用する可能性はあるか。（ある）
    - (2) 認定心理士が諸学会連合の基礎資格として認定された場合に、貴学会の職能資格の基礎資格としてそれを利用する可能性はあるか。（ない）
    - (3) 上記(2)において、制度が変更された場合、内容によっては利用する余地はあるか。（ある）
    - (4) 本学会が認定している資格の基礎教育科目に関連して付加すべき科目は何かの問には、安全心理学、交通心理学、市場心理学を付記した。
  - 3) 公開報告会“臨床心理技術者の国家資格制度創設をめぐる動き—経過と現在そして近未来—”（全心協）の案内が届いている。（参考資料配布）

### 審議事項

1. 公開シンポジウムについて（藤田委員）

以下の要領で行うことを承認した。

  - 1) 日時：2003年2月1日（土）13:30～16:30

- 2) 会場：駒沢大学 1 号館マルチメディア教場
- 3) テーマ：“少年犯罪の今日的課題”
- 4) シンポジスト：犯罪心理学領域だけでなく、被害者学、法律学者、少年院関係の技官等幅広く人選を進めたい。
2. 2003 年度常任理事選挙について  
選挙管理委員会提案を審議し、以下のように決定した。
  - 1) 常任理事の定数について  
過去の実績を勘案し 22 名とする。
  - 2) 当落線上、あるいは次点者に同点者が出た場合の順位決め方について  
選挙管理委員会が抽選を行い決定する。
  - 3) 辞退者について  
常任理事就任の問い合わせ、辞退者の承認、次点者の繰り上げ等はすべて選挙管理委員会で行う。
  - 4) 結果の報告について  
最終結果を常任理事会に報告する。報告は、当選者の氏名及び得票数とする。  
会員にはニューズレター等を通じて当選者の氏名のみを公表する。
  - 5) その他、この選挙に関する不測の事態については、選挙管理委員会に一任する。  
なお、理事長が依頼する常任理事枠について提案がなされたが、常任理事に欠員が生じた時の補充の問題と併せ、新体制の基で選挙制度全体を審議していくことを確認した。
3. 理事長選出について  
理事長選挙に関する以下の事項を審議し承認した。
  - 1) 理事長の選出方法について  
新常任理事による互選（郵送投票）で行う。
  - 2) 理事長選挙管理委員会について  
常任理事選挙に当たった選挙管理委員会が継続して行う。
  - 3) 理事長選挙日程について  
理事長選挙は当初の予定より早め、2002 年 11 月中に行うことを承認した。
4. 大会での自主シンポジウム及び自主ワークショップでの発表費の扱いについて  
自主シンポジウム及び自主ワークショップについては参加費と発表費を徴収する。ただし、口頭

発表やポスター発表も含め、1 人が 2 件以上になる場合は 1 件分のみで可とすることを確認した。

5. 新入会員審査  
正会員 11 名の入会を承認した。
6. 研修委員の増員について  
大塚研修委員長より研修委員会委員として次期大会準備委員長を加える提案がなされ、これを承認した。

#### 2002 年度第 5 回常任理事会

日 時：2002 年 11 月 22 日（金）18:00～20:00

場 所：東京富士大学本館 1 階第 2 会議室

出席者：森下・稲毛・浮谷・内海・大久保・大塚・岡村・荻野・小野・嘉部・大坊・長塚・馬場・林・藤田・正田・松浦  
事務局（神田・岩田）

#### 報告事項

1. 次期常任理事・理事長選挙結果について  
（荻野選挙管理委員長）
  - (1) 次期常任理事選挙結果について  
次期理事による常任理事選挙の投票者数 45 名、有効投票数 426。定員 22 名に対し、小野浩一氏が 2003 年度海外研修のため辞退され、1 名を繰り上げ当選とした。  
2003 年度常任理事は次の通りである。  
稲毛教子、浮谷秀一、大橋信夫、岡村一成、荻野七重、垣本由紀子、神作 博、坂野 登、鈴木由紀生、大坊郁夫、田之内厚三、外島裕、所 正文、内藤哲雄、長塚康弘、馬場房子、林 潔、藤田主一、細江達郎、松浦常夫、南 隆男、蓮花和己  
（以上五十音順、敬称略）
  - (2) 次期理事長選挙結果  
22 名の常任理事による次期理事長選挙の結果は有効投票数 21 票であり以下の通り決定した。  
理事長：岡村一成氏  
次 点：長塚康弘氏
2. 2003 年度（第 70 回）大会について  
（森下大会準備委員長）
  - (1) 1 号通信を間もなく発送する予定である。
  - (2) 若手主体の宿泊ワークショップを行う予定で

ある。

### 3. 委員会報告

#### (1) 機関誌編集委員会（小野委員長）

投稿論文処理状況の報告がなされた。28巻2号は12月3日入稿、1月20日に印刷終了の予定である。

#### (2) 研修委員会（大塚委員長）

2002年度大会における研修の反省をもとに研修会の運営・管理のあり方を検討している。次期研修会の講師については次回研修委員会で検討する。

#### (3) シンポジウム委員会（藤田委員）

2003年2月1日（土）13:30～14:30に公開シンポジウム『少年犯罪の今日的課題』を駒沢大学1号館201教場で開催する。シンポジウスは以下の通りである。

企画・司会：藤田圭一

（城西大学女子短期大学部教授）

話題提供者：碓井真史

（新潟清陵大学教授）

：阿部恵一郎

（千葉刑務所精神科医）

：伊藤良朗

（弁護士・東京弁護士会）

：富田信穂

（常盤大学人間科学部）

指定討論者：細江達郎

（岩手県立大学教授）

：大山みち子

（武蔵野女子大学助教授）

（敬称略）

#### 4. その他（荻野事務局長）

日本心理学会から同会創立75周年の招待状が届き、11月23日に森下理事長が出席の予定である。

### 審議事項

#### 1. 大会発表資格について

森下理事長より大会における非会員の連名発表を認めることが提案された。提案理由は、応用心理学は関連学問領域が多岐にわたるので、本会会員でも様々な領域の研究者と共同研究を進めており、研究の進展のためにも非会員の連名発表を認

めることが適当との内容であった。審議の結果、提案は承認された。

さらに、連名発表者の発表費は会員と同額とすること、大会参加費は正会員の当日参加費よりも高く設定する、具体的には、正会員の予約参加費よりも2,000円高く設定することを確認した。

#### 2. 2001年度総会決定事項の変更について

事務局長より次の経過説明と提案がなされた。

2001年度の総会における名誉会員の推薦に至る過程に手落ちがあり、常任理事会で推薦を認めた候補者7名のうちの1名がリストに挙げられないまま総会で決定をした。については、2001年度に遡って、さらに1名の名誉会員の承認することを提案したい。

審議の結果、総会決定事項の遡及的変更はせず、次期総会において名誉会員として推薦することとなった。

#### 3. 次期事務局について

次期事務局について、岡村次期理事長より、東京富士大学で引き受けるために諸条件を検討するとの申し出があった。

#### 4. 新入会員審査について

新入会員4名の入会を承認した。

### 2003年度第6回常任理事会

日時：2003年2月1日（土）17:00～19:00

場所：駒沢大学本部棟

出席者：森下・稲毛・荻野・小野・垣本・坂野・長塚・馬場・林・福原・藤田・細江・松浦事務局（岩田・藤瀬）

### 報告事項

#### 1. 2003年度（第70回大会）について

（森下第70回大会準備委員長理事長）

第2号通信の素案が示され。非会員の連名発表者に関係する部分についてこれまでの常任理事会の決定に沿って行うことを確認した。

#### 2. 委員会報告

機関誌編集委員会（小野委員長）

28巻2号が刊行されたことと、28巻1号以降の投稿論文処理状況の報告がなされた。また、2月1日より3月末日までの間、荻野事務局長が編集委員長代行として編集業務のとりまとめを行う

ことを審議事項とすることが提案された。

### 3. 日本心理学諸学会連合について (荻野事務局長)

去る12月21日に連合の第8回理事会が開催され、本学会から森下理事長と荻野事務局長が出席したこと、及び討議の内容が資料に基づいて報告された。

### 4. 日本学術会議心研連からのアンケートについて (事務局長)

日本学術会議心研連より、基金として会員1,000名以下の学協会は年額1万円、1,001名以上3,000名未満は2万円、3,001名以上は3万円を供出する件について回答が求められたこと、審議を待たずに、賛成の回答をしたことが報告され承認された。

#### 審議事項

##### 1. 次期事務局について

現事務局を3月末をもって移転することを承認した。今後の事務局の体制、新事務局長については次回常任理事会で正式に決定することになった。

##### 2. 新入会員審査

正会員として6名の入会を承認した。

##### 3. 機関誌編集委員長代行について

現機関誌編集委員長小野浩一氏が、2003年度海外研修のため渡航することとなり、4月の任期終了までの間の編集業務を続けることが困難になった。そのため、2月1日より次期委員長が決定するまでの間、荻野現事務局長が編集業務のとりまとめを行うことが承認された。

#### 2003年度第7回常任理事会

日時：2003年3月7日(金) 17:00~18:30

場所：東京富士大学本館

出席者：森下・稲毛・浮谷・内海・大久保・大塚・岡村・荻野・垣本・神作・越河・長塚・馬場・林・平野・福原・藤田・細江・正田・事務局(岩田・藤瀬)

#### 報告事項

##### 1. 2003年度(第70回大会)について (森下第70回大会準備委員長理事)

4月1日に第2号通信を発送の予定である。

#### 2. 委員会報告

##### 1) 認定「応用心理士」審査委員会

2002年度は13名の「応用心理士」を認定した。現在、認定「応用心理士」は、名誉会員を含む191名である。4月に認定「応用心理士」の手引きを発行する予定であるが、会則改正その他の変更の必要が生じている。

##### 2) 機関誌編集委員会(荻野委員長代行)

(1) 28巻2号以降の投稿論文処理状況。

(2) 29巻1号に、公開シンポジウムを掲載し、2003年度大会前に刊行する。

(3) 今後の検討課題として、1号、2号とも年内に刊行する、英文による投稿を検討する、この2点を考えている。

##### 3) 研修委員会(大塚委員長)

第70回大会における研修会は次の2氏を予定していることが報告され、了承された。

講師A 大村政男氏「人格心理学と臨床心理学」

講師B 西川一廉氏「今日の勤労者の課題と研究の進め方」

##### 4) 広報委員会(林委員長)

3月末に、役員体制の変更と事務局移転を中心とした臨時増刊号を出す予定である。

##### 5) 倫理綱領作製委員会(福原委員)

3月末までに委員会案を提示する予定であったが、福原委員案と藤田委員案を示すにとどまったことが報告された。これについて岡村理事より、次年度への継続審議とすることが提案され、了承された。

#### 審議事項

##### 1. 次期事務局及び事務局長について

岡村次期理事長より、事務局の体制及び事務局長について次のような案が示され、承認された。また、事務局移転に伴う、会則第13条(事務局)の記載事項に変更が生じるが、これについては、総会で事後承認してもらうことを承認した。(事務局)

日本応用心理学学会事務局

〒187-8570 東京都新宿区高田馬場3-8-8  
(株)国際文献印刷社内

電話 03-5389-6491 FAX 03-3368-2822

E-mail jaap-post@bunken.co.jp

日本応用心理学会「応用心理士」事務局

大場 浩史

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-8-1

東京富士大学 応用心理学研究室内

和田智恵子

電話 03-5330-0088 FAX 03-5386-2451

日本応用心理学会「機関誌編集」事務局

南村 博二

〒187-8570 東京都小平市小川町 1-830

白梅学園短期大学心理学科荻野研究室内

石橋 里美

電話 042-346-5622 FAX 042-349-7373

(事務局長)

東京富士大学教授 浮谷秀一

望月 雅和

2. 日本学会会議第 19 期会員に関する推薦依頼について

以下の通り決定した。

②文京学院大学大学院

中島 明美

会員候補者：推薦せず

推薦人：心理学(浮谷秀一), 行動科学(荻野七重)

②東京都立松沢看護学校

推薦人予備者：心理学(林 潔), 行動科学(馬場 房子)

高橋 友子

3. 大学評価委員会評価員候補者の推薦依頼について

②兵庫医科大学附属看護専門学校

金 鏡

推薦を行わないことを決定した。

4. 日本臨床心理士会からの依頼について

日本臨床心理士会の、「臨床心理職の国家資格制度創設」への賛同の依頼について、審議の結果、本学会としてはこの問題は日本心理学諸学会連合を通して対応していくことが確認され、この旨を回答することになった。

②東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科博士課程 2 年

西村 和浩

②兵庫県立和田山養護学校

5. 新入会員審査 5 名を正会員の入会資格者として承認した。

張 貞京

#### 会員移動

#### 2002 年度新入会員 (2002.4~2003.3)

氏名, ①現住所, ②所属

古川 千晶

②社会福祉法人大木会もみじ・あざみ寮

伊藤 朋子

②東北大学大学院医学系研究科高次機能障害学講座

加藤 愛子

②東京都立豊島看護専門学校

出水真寿美

②東京都立松沢看護専門学校

河野 雄二

②あしなが育英会レインボーハウス

増田 真也

②龍谷大学大学院文学研究科教育学専攻  
本多 明生

おおさき美喜

②東北大学大学院文学研究科 修士2年  
坂口 朋子

②名古屋市立大学病院  
佃 未音

②(財)滋賀県交通安全協会大津事務所  
須賀 京子

②東京国際大学大学院応用心理学研究科博士後期  
課程  
仲栄真美奈子

②愛知県立大学  
林 洋一郎

②琉球大学文学部  
戴 伸峰

②(株)日本経営協会総合研究所  
熊谷 陽子

②東北大学文学研究科心理学研究室博士課程  
岡村 千鶴

小島ひとみ

②早稲田大学大学院教育学研究科 在学中  
増地 克之

②兵庫医科大学附属看護専門学校  
福島 朋子

②桐蔭横浜大学工学部  
井上 洋平

②県立新潟女子短期大学  
蓮見知恵子

②立命館大学大学院応用人間科学研究科  
南篠 充寿

②常磐大学大学院 修士課程1年  
水野ひさ子

②仙台大学体育学部  
川地亜弥子

②合資会社丸一  
高橋 眞

②京都大学大学院教育学研究科教育科学専攻教育  
方法学講座博士課程  
森脇 保彦

②相模原市役所保健福祉部介護保健課  
中川 高

②国士館大学  
中嶋 真理

②日本大学大学院文学研究科心理学専攻博士課程  
佐藤 拓

②岩手大学教育学研究科(学校教育, 心理学)  
椿堂 由紀

②東北大学大学院文学研究科人間科学専攻心理学  
分野

②(株)リクルートキャリア事業開発室

月野木竜也

- ②明治学院大学大学院文学研究科心理学専攻修士課程  
沼原 悠子
- ②龍谷大学大学院文学研究科教育学専攻修士課程  
加藤 紀子
- ②龍谷大学大学院文学研究科教育学専攻教育心理学領域  
和田 あさ
- ②つくば市保健福祉部健康増進課  
山田 宗寛
- ②(社福)おおつ福祉会  
小泉 素子
- ②島根医科大学医学部看護学科  
村上 幸史
- ②大阪大学大学院人間科学研究科博士後期課程  
川口 真理
- ②北海道東海大学第四高等学校  
神 康久
- ②医療法人梨香会秋元病院  
鈴木 祐子
- ②東北女子短期大学  
山添 美紀
- ②(社福)きぬがさ福祉会(知的授産施設)  
小川 時洋
- ②同志社大学  
野村 昌史
- ②皇学館大学大学院社会福祉研究科修士課程  
堤 敏子
- ②流通科学大学産業サービス学部医療福祉サービス学科  
服部 敬子
- ②流通科学大学産業サービス学部医療福祉サービス学科  
上田 照子
- ②流通科学大学サービス産業学部医療福祉サービス科  
田名場美雪
- ②弘前大学保健管理センター  
清水 大輔
- ②広島少年鑑別所  
宮川 数君
- ②流通科学大学  
永井 正一
- ②流通科学大学  
村井潤一郎
- ①〒180-0002 武蔵野市吉祥寺東町 2-11-9  
②文京学院大学人間学部  
山本 修司
- ②関西福祉科学大学大学院社会福祉学研究科臨床福祉学専攻  
尾藤 克之
- ②(株)インテリジェンス  
細部 国明
- ②城西大学  
明路 咲子

②流通科学大学  
足立 明

②流通科学大学  
安川 雅史

②第一高等学院札幌校（大検予備校）  
久保田由紀

永田 俊代

②関西学院大学文学部  
棚橋 菊夫

②流通科学大学サービス産業学部  
高橋 敏弘

②堺市こども療育相談所  
松浦 均

②中部大学人文学部心理学科  
亀原 弓子

②社会福祉法人保健福祉の会洛西保育園  
加藤 曜子

②流通科学大学  
橋本 秀美

②夙川学院短期大学  
山口 智子

②名古屋大学 学生相談総合センター  
和田 万紀

②日本大学法学部  
澤田 清方

②流通科学大学サービス産業学部医療福祉サービス学科  
高原 素子

②埼玉医科大学短期大学  
加藤 司

②学術振興会特別研究員（筑波大学心理学系）  
藤島 和子

②埼玉医科大学短期大学  
三島 美砂

②神戸常盤短期大学  
楯 誠

②筑波大学大学院心理学研究科  
中見 仁美

②関西学院大学

**2002年度退会者名簿一覧**

(76名 2002.4~2003.3)

**自主退会 (38名)**

櫻井 芳郎, 永井 美穂, 相場 幸子, 岡田 洋子, 木村 大生, 菊池 陽子, 長谷川知子, 本明 寛, 花澤 佳子, 杉本 功介, 倉戸ツギオ, 坂倉恵美子, 松永 淳子, 橋口 修, 宋 桂華, 高橋 敷, 相良陽一郎, 牧野 勝, 藤野 文代, 上村 妙子, 栗本かおり, 伊藤 格夫, 坂原 明, 黒田 淑子, 田中 武平, 田中 響, 大間々砂智子, 浅井由美子, 村山さくら, 山田 泰之, 浅井 邦二, 阿部 明子, 安藤 詳子, 柴山 茂夫, 大久保幸郎, 當山 律子, 野附みさこ, 富国 重道

**逝去 (4名)**

謹んでご冥福をお祈りいたします。

松本 洋 2001年12月  
高橋たまき 2002年4月

鈴木 清 2002年 7月  
中野 和彦 2002年 8月

#### 住所不明 (7名)

富澤 昭三, 清水 増三, 加藤 尚子, 金尾 佳子,  
藤原 恩, 船越すみれ, 嶋本 良子

#### 長期会費未納 (27名)

小斉 祐治, 小野 敏子, 花畑 一吉, 石田 信子,  
西方 毅, 桑原 岳史, 門井 典子, 勝俣喜代子,  
西野 証治, 井上 裕樹, 大脇 淳子, 岡野 全子,  
小田 慶子, 福井 博一, 若山 由子, 浦川八重子,  
山下 康隆, 常木 暎生, 野崎 佳子, 菅野 久信,  
松田 東子, 鶴田 光枝, 青塚いずみ, 井手奈津代,  
千田 茂博, 菊地 徳省, 鎌滝 雅彦

#### 寄贈文献 (2002.4~2003.3)

- ・SCIENTIA ((財)日本学会事務センター) No. 15 ~No. 25
- ・別冊 医学のあゆみ 学会案内 (医歯薬出版株式会社) 2002. 7月版, 2003. 1月版
- ・学著協ニュース (学術著作権協会) No. 6~No. 8
- ・NII Journal (国立情報学研究所) 2002. No. 4, No. 5
- ・全協ニュース (全国保健・医療・福祉心理機能協会) 2002.4, No. 40
- ・日本語教育通信 (国際交流基金) No. 43~No. 45
- ・NII News (国立情報学研究所ニュース) No. 9~No. 14
- ・学会センターニュース (学会誌刊行センター, 日本学会事務センター, 学会出版センター) No. 329~No. 340
- ・健康心理学研究 (日本健康心理学会) Vol. 15, No. 1~No. 2
- ・指導と評価 (日本教育評価研究会) 2002.4~2003. 3
- ・学術の動向 (日本学術協力財団) 2002.4~2003.4
- ・放送研究と調査 (NHK 放送文化研究所) 2002.4~2003.3
- ・学校教育学研究論集 (東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科) 第6号 (2002.11)
- ・上智大学心理学年報 (上智大学心理学科) 第26巻 (2002年)

- ・山梨大学教育人間科学部研究報告 (山梨大学教育学部) 平成14年, 第3巻2号
- ・早稲田心理学年報 (早稲田大学文学部心理学会)
- ・交通科学 (大阪交通科学研究会) 2002, Vol. 33, No. 1, No. 2
- ・科学警察研究所報告 (科学警察研究所) 2002, 42巻1号
- ・人事試験研究 (日本人事試験研究センター) 2002, No. 182~No. 185
- ・テレビ・ラジオ番組個人視聴率調査 (NHK 放送文化研究所) 平成14年11月
- ・慶應義塾大学大学院社会学研究科紀要 (社会心理学教育学) 2001, 第53号; 2002, 第54号
- ・テレコム社会科学学生賞入賞論文集 ((財)電気通信普及財団) 平成14年, No. 11
- ・母子保健情報 (恩賜財団母子愛育会) 2002, 45号, 46号
- ・発達研究 ((財)発達科学研究教育センター) 2001, Vol. 16
- ・関係学研究 2001年度記念特集号 第29巻第1号
- ・筑波大学心理学研究 (筑波大学心理学系) 2003年, 第25号
- ・電気通信普及財団研究調査報告書 (電気通信普及財団) 2002年, No. 17
- ・子ども家庭福祉情報 ((社)日本子ども家庭総合研究所) 2001年3月, Ver. 5 (CD版)
- ・第9回交通調査・研究発表会要旨集 ((財)東日本鉄道文化財団)
- ・基礎心理学研究 (日本基礎心理学会) 平成14年, 第21巻1号~第22巻2号
- ・名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 (教育学, 心理発達科学) 2001年度, 第48巻第2号~2002年度第49巻
- ・人間関係学研究 (日本人間関係学会) 2002年, 第9巻第1号
- ・安田女子大学大学院文学研究科紀要 2002年, 第7集分冊 教育学専攻7号, 2003年児童教育研究, 第12号
- ・心理学専攻紀要 (明治学院大学大学院文学研究科) 2002年, 第7号
- ・スポーツ心理学研究 (日本スポーツ心理学会) 第29巻第1号

- TAF クォーターリー (電気通信普及財団) 2002, Apr. Vol. 62
- 産業安全研究所安全資料 (労働省産業安全研究所) 平成 13 年度 No. 16, 17, 特別研究報告 No. 24, 25
- 男女共同参画社会 キーワードはジェンダー ((財)日本学術協力財団)
- Psychological Institutions in Japan 2001 (日本心理学会)
- 国際交流基金メキシコ事務所紀要 TOM 02 (国際交流基金メキシコ事務所)
- 第 18 回フェジィシステムシンポジウム講演論文集 (2002.8.28~30) (日本フェジィ学会)
- ノーベル賞 100 周年記念国際フォーラム Nobel Prize テーマ「創造性とは何か」ノーベル賞 100 周年記念国際フォーラム アブストラクト集 (日本学術会議)
- JAPANESE HEALTH PSYCHOLOGY, No. 9 (2002.3) (THE JAPANESE ASSOCIATION OF HEALTH PSYCHOLOGY, TOKYO)
- 東海大学紀要 (教育研究所) 第 9 号 (2001 年)
- 東京学芸大学大学院連合「博士学位論文」(東京学芸大学大学院連合学校教育学研究科) 第 5 号 (2002.8)
- 学校教育学研究論集 (東京学芸大学大学院連合教育学研究科) 第 5 号 (2002.3)
- 東京学芸大学紀要〈第 1 部門教育学科〉(東京学芸大学紀要出版委員会) 第 52 集 (2000.3) 総索引 第 53 集 (2002. 3)
- 日本子ども家庭総合研究所紀要, 第 38 集 (2002. 3.31)
- 産業安全研究所報告 (労働省産業安全研究所) No. 26, No. 27 (2002.11)
- 国立身体障害者リハビリテーションセンター「研究紀要」第 21 号, 第 22 号 (2000~2001)